

安全データシート

電気泳動前処理キット_Solution C

FILE NO.: SDS-0183-JP

SDS DATE: 2023/04/01

1: 製品及び会社情報

製品名: 電気泳動前処理キット_Solution C
製品番号: SR-4011

会社名: 株式会社ファーマフーズ
住所: 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49

〈緊急連絡先〉 月曜～金曜、午前9時～午後5時
担当部署: バイオメディカル部 アプロサイエンスグループ
住所: 徳島県徳島市南末広町4-53 エコービル4階
電話番号: 088-678-6372
FAX 番号: 088-678-6373

2: 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分2

健康有害性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(中枢神経系、呼吸器、消化管)

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、消化管の障害

安全対策

使用前に取扱説明書を入力すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。

安全データシート

電気泳動前処理キット_Solution C

FILE NO.: SDS-0183-JP

SDS DATE: 2023/04/01

- 保管** 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 廃棄** 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3: 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 単一製品

成分

化学名	重量パーセント	化審法官報公示番号	安全労働衛生法	Cas No.
アセトン	>99%	(2)-542	(2)-542	67-64-1

4: 応急処置

- 眼に入った場合** コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。水で数分間、注意深く洗うこと。この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。不十分であると不可逆的な眼の傷害を生ずるおそれがある。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合** 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水で洗浄する。
- 吸入した場合** 直ちに新鮮な空気の場所に移し、保温、安静に努め、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合** 気分が悪い時は医師を呼ぶこと。口をすすぐこと。吐かせないこと。

5: 火災時の措置

- 消火剤** 小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
大火災: 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤** 棒状注水
- 消火方法** 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
引火点が極めて低い: 散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

6: 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置** 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
- 環境に対する注意事項** 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材** 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

安全データシート

電気泳動前処理キット_Solution C

FILE NO.: SDS-0183-JP

SDS DATE: 2023/04/01

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い	火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 静電気放電(有機物の蒸気を引火させうる)を避けるために必要な措置をとる。 個人用保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。
保管	容器を密閉しておくこと。 直射日光を避け、換気の良い冷暗所(または暗所)で保管する。

8: ばく露防止及び保護措置

ばく露限界

Chemical Name	日本産業衛生学会	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
アセトン 67-64-1	200ppm(470mg/m ³)	ISHL/ACL: 500 ppm	STEL: 500ppm TWA: 250ppm

設備対策	適切な換気のある場所で取扱う。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	保護眼鏡、ゴム手袋、防護マスク、長袖作業衣

9: 物理的・化学的性質

形状	液体
色	透明
臭い	特異臭
pH	データなし
融点	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
比重	データなし

10: 安全性及び反応性

安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
避けるべき条件	高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク
危険有害な分解生成物	一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素(CO ₂)

安全データシート

電気泳動前処理キット_Solution C

FILE NO.: SDS-0183-JP

SDS DATE: 2023/04/01

11: 有害性情報

急性毒性

Chemical Name	経口 LD50	経皮 LD50	吸入 LC50
アセトン 67-64-1	5800 mg/kg (Rat)	> 7400 mg/kg (Rabbit)	32000 ppm(Rat) 4h(vapor)

健康への潜在的な影響

眼	眼刺激
皮膚	影響なし
呼吸器感受性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
誤えん有害性	飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

12: 環境影響情報

生態毒性:

化学名	藻類/水生植物	魚	甲殻類
アセトン	N/A	LC50 : Fathead minnow >100 mg/L 96 h	N/A

残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壌中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13: 廃棄上の注意

残余廃棄物	許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 内容物を完全に除去した後処分する。

14: 輸送上の注意

国連番号	UN1090
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
環境有害物質	非該当

15: 適用法令

化審法	優先評価化学物質 No.114
労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 /アセトン(別表第9の17) 名称等を表示すべき有害物 /アセトン(別表第9の17) 第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) 危険物・引火性の物(施行令別表第1 第4号)
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	危険物第四類 第一石油類 危険等級II 水溶性
化学物質管理促進法	非該当
船舶安全法	引火性液体類(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16: その他の情報

- * 本データシートは試薬としての一般的な取扱いを前提に記載しており、試薬以外での取扱いや大量の取扱いに関しては考慮されていないことがあります。
- * 本データシートはすべての情報を網羅しているものではありません。
- * 本データシートの内容は追加又は訂正されることがあります。
- * 本データシートは安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。

End of Safety Data Sheet